

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所
【現地駐在】TTB 銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)
HD 銀行(ベトナム・ホーチミン)、明倫国際法律事務所ホーチミンオフィス(ベトナム・ホーチミン)



【釜山支店】

【インサイト SDGs】脱プラスチックによる韓国の変貌を読み解く(後編)

1. はじめに

もうすっかり秋ですね。気候変動の影響でしょうか、台風が来ることの少なかった韓国に、今年は相次いでやって来ています。台風が来ると、陸地にあるプラスチックごみが風で流され、海洋にあるプラスチックごみは通常と比べ、約1,300倍に増えるとも言われており、そのプラスチックごみがどうなるのか、非常に気になります。さて、前回の『【インサイトSDGs】脱プラスチックによる韓国の変貌を読み解く(前編)』では、日本と韓国を比較の上、「プラスチック新法」に注目し、韓国におけるプラスチックごみ排出量の深刻さと、改善に向けた韓国特有の制度を中心にお伝えしました。

日本では2022年4月からプラスチック資源循環促進法が施行され、企業単位における3R運動(リデュース・リユース・リサイクル)の更なる促進が期待されていますが、韓国においても同様に各企業が独自に3R運動を積極的に推進している事例をよく目にします。

今回のアジアニュースでは「韓国の脱プラスチック社会」において注目される市場や話題の商品について、具体的な事例を交えて紹介します。

2. 注目される市場(企業の動向)

日本で「エコ経営」「ESG経営」といった言葉をよく耳にしますが、韓国においても各企業、特に大企業がこぞって目標を掲げ、プラスチックごみ削減に努めています。

先程、海洋のプラスチックごみの話題に触れましたが、スマートフォンで有名な「サムスン電子」は海に廃棄される廃漁網をリサイクルし、2022年9月に発売した「Galaxy Z Flip 4(ギャラクシーZフリップ4)」と「Galaxy Z Fold 4(ギャラクシーZフォールド4)」のプラスチック素材とし



Galaxy Z Flip 4 と Galaxy Z Fold 4
(出典：サムスン電子 HP)

で活用しており、今後会社全体として2030年までに50%のプラスチック部品、2050年までにすべてのプラスチック部品へリサイクルプラスチックを適用する目標を掲げています。

また、同業他社である「LG電子」は冷蔵庫、エアコン、テレビ、モニター、サウンドバー(シアターバー)など主要製品にリサイクルプラスチックの活用を拡大する方針です。今年からOLED※テレビにリサイクルプラスチック部品を適用し、空気清浄機の新製品にも廃電子機器から抽出して製造したリサイクルプラスチックを外観材質として使用しています。同社ではリサイクリングセンターを独自で運営し、処分された家電からプラスチックなどを分離の上、リサイクルプラスチック原料を作っており、2021年から2030年までに同社の家電製品に対して累計60万トン(2021年:年間使用実績2.7万トン)のリサイクルプラスチックを使用することを目標としています。



OLED TV (出典: LG 電子 HP)

その動きは家電業界だけではなく、自動車業界も例外ではありません。韓国の「現代自動車」では電気自動車や水素燃料自動車など、クリーンエネルギーを利用する自動車の開発だけではなく、「サムスン電子」と同様に廃漁網をリサイクルしたナイロン素材を主力製品「IONIQ(アイオニック)」の内外装素材として積極的に活用しています。その他にもバイオプラスチックと廃ペットボトルを加工した原糸を、シート・ダッシュボード・コンソールカバー・アームレストの素材として適用する等、リサイクル活動を強く進めており、2030年までに全てのプラスチック部品のうち20%をリサイクルプラスチックへ転換する計画を掲げています。



IONIQ6 (出典: 現代自動車 HP)

ここでは一部の例をご紹介しましたが、リサイクルプラスチックを原料とした製品が身近に使用されており、韓国のリサイクルに関する世間的な理解・関心が高まっていることを感じます。また、多くの大手企業が具体的な目標を掲げ、リサイクルプラスチック活用を進めている姿勢からも、韓国のリサイクルプラスチックおよび関連商品の需要の高さが窺え、新たなビジネスチャンスが生まれているものと思われます。

※OLED: Organic Light Emitting Diodeの略。日本では有機ELと呼ぶことが多い。

3. 話題の商品

韓国では2021年にミネラルウォーター業者が廃ペットボトルの分別収集率を高めるため、ラベルのないミネラルウォーターを発売したことで、ラベルのない商品が人気を集め、早々に飲料メーカーの様々な商品へ広がりました。その広まる速さを考えると韓国社会における環境に対する関心の

高さが窺えます。大企業の動向で触れたように、現在韓国はまさに脱プラスチックに向けた大転換期と言え、その機会を逃すまいと様々なスタートアップ企業が脱プラスチックに関連する商品によってビジネスチャンスをものにしようとしており、その例をご紹介します。

◆ インナーボトル(INNERBOTTLE) (京畿道城南市)

まずは身近なプラスチック容器に関する例として中身をほぼ全て使い切れる容器です。化粧品業界の容器メーカー「インナーボトル」は、言葉の通り「ボトルの中のボトル」を意味しますが、プラスチックボトルの中に自社独自の技術を利用した弾力性のあるシリコンボトルを入れ



INNERBOTTLE (出典: INNERBOTTLE HP)

ることで、中のモノを99.7%使用することを可能としました。また、中のモノを使い切るだけでなく、リサイクルし易い構造となっていることから、顧客満足度が高く、今後は化粧品だけでなく洗剤などの生活用品、ケチャップ・マヨネーズなどの調味料関連、その他飲料におけるプラスチックボトルへの拡大が期待され、話題となっています。

◆ プリーツママ(PLEATS MAMA) (ソウル特別市)

ファッションビジネスに関する一例としては使用済みとなったごみを原料としてカバンやアクセサリーをつくる企業もあります。エコファッションブランド「プリーツママ」は、韓国内で初めて廃ペットボトル、海洋廃プラスチックをリサイクルした原糸でカバンやアクセサリー、衣類を作るエコファッション産業界のトップランナーです。ショルダーバッグを16本(500mlペットボトル基準)の廃ペットボトルで作るなど、新しいエコな発想で人気を博し、最近では捨てられた服と生地を溶かして作るチップと原糸を利用した製品開発を行っており、話題となっています。



PLEATS MAMA (出典:ソングインインターナショナル HP)

◆ スーパービン(superbin) (大田広域市)

ごみ回収にかかるビジネス例としては飲み終わった飲料容器を自動的に分別する機械が登場しています。循環資源回収ロボットを開発・製作する会社の「スーパービン」は、飲み終わった缶やペットボトルを投入すると、搭載されている人工知能がリサイクル可能な缶やペットボトルかどうかを選別する機械を開発しました。回収した缶とペットボトルは1個当たり10ポイントが支給され、2,000ポイントから現金に換えることができます。機械の中で種類別に分類された後、運搬しやすく圧縮され、一定量がたまると外部業者が回収する仕組みです。現在、韓国全国の



superbin (出典: superbin HP)

公園、住民センター、企業の社屋等に約600ヶ所程度設置され、ロボット工学技術を基盤とした廃棄物収集処理機「スーパービン」は、環境を保護しながら経済的な効果も得られる資源リサイクル・循環経済モデルとして話題となっています。

◆コスコーペーパー(koskopaper) (京畿道抱川市)

プラスチックに代わるエコ紙ビジネスの一例です。エコ包装材メーカー「コスコーペーパー」は、エココーティング技術特許を保有し、スターバックスに紙ストローを納品していることで有名です。リサイクルが可能な分解性コーティング剤を使用した



koskopaper (出典：コスコーペーパー HP)

食品包装紙を使用することで、焼却・埋立時に環境負荷がありません。更には耐油、耐熱、耐水性を持ち、プラスチックを使用している食品用包装製品や多くの製品に代替することができることで話題となっています。

4. 終わりに

前編・後編にて韓国の脱プラスチック社会にかかる問題・政府対応・企業動向、および話題の関連商品についてお伝えいたしました。韓国では2022年11月24日からカフェなど店内で使い捨て容器や使い捨てストローの使用が全面禁止になりますが、私がよく立ち寄るスターバックスでは既に禁止となっており、使い捨て容器に代わるマイタンブラーの洗浄機が設置されるなど、今までは想像もできなかった新しい社会へ変貌を遂げようとしています。

中小企業やスタートアップ企業がユニークで斬新な製品で新しい市場へチャレンジしているように、日本企業も脱プラスチックによる韓国の変貌へ目を向ければ新たなビジネスチャンスもあるのではないのでしょうか。ご紹介した韓国のプラスチック事情を含め、韓国への販路拡大や韓国企業との協業等にご関心のある方は、是非当店までご連絡ください。

(山口銀行釜山支店 金恵蓮)



ペットボトルキャップをリサイクルした植木鉢(筆者撮影)



ラベルフリーの透明ペットボトル(筆者撮影)

【参考文献】

サムスン電子ニュースリリース:

ギャラクシーアンパック新製品に廃漁網などリサイクル素材適用拡大

<https://bit.ly/3BVAi9C>

サムスン電子ニュースリリース:サムスン電子、「新環境経営戦略」宣言

<https://bit.ly/3xpp220>

LG電子ニュースリリース:

温室効果ガス排出量を40%削減し、リサイクルプラスチック使用を32%増加させた

<https://live.lge.co.kr/lg-better-life-plan-2030/>

LG電子ニュースリリース:LG OLED EVO(OLED evo)グローバルエコ認証3冠

<https://live.lge.co.kr/2205-lgoled-evo/>

LG電子ニュースリリース:

LG電子、新概念テーブル型空気清浄機「ヒューリーケアエアロファニチャー」 「IFA 2022」で公開

<https://live.lge.co.kr/lg-airofurniture/>

東亜日報:植物性革・廃バッテリーリサイクル・現代車エコ生態系構築

<https://www.donga.com/news/article/all/20220406/112714754/1>

ハンギョレ新聞:現代車「IONIC6」デザイン公開

<https://www.hani.co.kr/arti/economy/car/1048889.html>

サムスン電子 HP

<https://www.samsung.com>

LG電子 HP

<https://www.lge.co.kr>

現代自動車 HP

<https://www.hyundai.com>

インナーボトル HP

<http://innerbottle.com>

ソンガンインターナショナル:PLEATS MAMA HP

<https://pleatsmama.com>

superbin HP

<https://www.superbin.co.kr>

koskopaper HP

<http://www.koskopaper.com>